

移住者インタビュー // 私が新潟市を選んだ理由

# 「時間も心も余裕のある豊かな生活」



としひで  
今井俊秀さん

プロフィール

現在35歳。新潟市内で妻と息子と3人暮らし。  
東京都内の会社に勤務。現在は同社に所属したまま新潟市内でテレワークをしている。

今井家  
新潟市への移住までの流れ

- STEP 1 2016年に新潟市出身の妻と結婚。「いつかは新潟に帰りたい」となんとなく考えるようになる
- STEP 2 2020年、妻の里帰り出産のため新潟市へ帰省。息子が誕生
- STEP 3 「新潟市で今の仕事を続けられるのでは」と考え、新潟市への移住を決断
- STEP 4 夫婦それぞれの勤務先に相談。会社の理解もあり、新潟市に引っ越す

テレワークとは  
アイシーティー  
ICT(情報通信技術)を利用して会社などから離れた場所で仕事をする事

「コロナ禍」が移住のきっかけ

私は三条市、妻は新潟市出身で、進学や就職を機に東京へ。「いつかは新潟に帰りたい」となんとなく思いながらも、気が付くと17年が経過していました。

昨年、新型コロナウイルス感染症が拡大し、私たちの仕事は全てテレワークになりました。妻は出産のため新潟市に里帰りしており、私も帰省しテレワークをしていました。そして子どもが生まれ、「今の仕事を続けながら、家族みんなで新潟市に住むことができないのでは?」と考えることが移住のきっかけです。「コロナ禍」がなければ、まだ東京に住んでいたかもしれませ

移住して良さを実感

新潟市に移住して「生活のしやすさ」を感じています。東京の暮らしは刺激があつて楽しい反面、物価が高く、感染症対策を含め子育て環境に不安がありました。新潟市に住んでからは、赤ちゃんを連れて買い物や散歩などに安心して行くことができます。大きな公園や海など自然が豊かな一方で、

商業施設がたくさんあつてバランスの良いところも気に入っています。

心にも余裕ができました。東京では会社まで満員電車で往復約2時間かかりましたが、今は家で仕事をしているため通勤時間はゼロ。この時間を家族と一緒にいる時間や趣味などに使っています。新潟に来てからは、家で料理を作るようになりました。東京の半額くらいで買える新鮮な魚介類や地元の野菜などを使ったご飯を家族みんなで食べることに幸せを感じています。また、新潟にはお互いの両親がいます。いつでも子育ての相談をしたり、会ったりすることができて安心感がありますね。

好きなまちで暮らす幸せ

テレワークの普及と職場の理解のおかげで、私は好きなまちに住みながら仕事ができるようになりました。新潟市に移住をして本当によかったと思っています。これからは、さらに新潟市の楽しさや魅力を見つけ、いろんな場所に行ってみたいです。



地元の野菜で離乳食も作ります



晴れた日は家族で外を散歩します

移住を応援

## あなたの周りに新潟市に興味のある人はいませんか?

新潟市には、県外からの移住者を対象とするさまざまな支援制度があります。家族や知人、友人で新潟市への移住やUターンなどに興味のある人がいたら、ぜひ紹介してください。  
雇用政策課 (☎025-226-2149)

Check 特設サイトで移住者向け支援制度などを紹介

新潟市移住・定住情報サイト「HAPPYターン」には、移住・定住支援制度の一覧や、実際に移住した人の話を紹介しています。

HAPPYターン 検索



スマートフォンはこちらから

Check オンラインで相談を受け付け

移住について自宅で気軽に相談できます。利用には事前予約が必要です。詳しくは同サイトから確認してください。